

魚野川水辺プラザのあり方を考える懇談会

設立趣意書

魚野川は、平成 23 年新潟・福島豪雨出水及びその後の出水により、濘筋の位置が変更され河道内の土砂堆積も進行した。特に魚野川と信濃川の合流点付近にある長岡市川口地先では、流下能力が不足しており、河川管理上その解消が急務となっている。

一方、川口地先には魚野川水辺プラザが設置されており、「信濃川・魚野川の合流する水辺景観の保全と活用」を基本方針として平成 14 年に整備されて以降、地域交流拠点の場・子供たちが川を学ぶ場として活用されてきている。

信濃川河川事務所が検討している川口地先の流下能力向上に向けた対策は河道掘削であるが、河道掘削をする際は、水辺プラザの一部区域が影響を受ける。あわせて、当該地先で流入する相川川について合流方法を改良することも必要である。

本懇談会は、水辺プラザの今後の整備に向けて、水辺プラザ周辺の地域特性及び水辺プラザ利用ニーズ、川口地先の自然環境を踏まえた地域に望まれる水辺プラザのあり方に関して助言をいただくものである。